

## 医療人育成センター開設記念 札幌医科大学公開リレー講座の無事終了に寄せて

相馬 仁<sup>1)</sup> 佐藤利夫<sup>1)</sup> 今井道夫<sup>2)</sup> 森岡 伸<sup>2)</sup>  
高橋義信<sup>2)</sup> 上野 淳<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> 札幌医科大学医療人育成センター 教育開発研究部門

<sup>2)</sup> 札幌医科大学医療人育成センター 教養教育研究部門

<sup>3)</sup> 札幌医科大学事務局学務課教務グループ (医療人育成)

2008年10月に医療人育成センターが開設いたしましたことを記念して寺島実郎先生監修の公開リレー講座が企画され、昨年(2009年)4月～6月の間で実施されました。寺島先生の発案「世界から見た日本の立ち位置、また日本国内の諸問題を取り上げながらも特に福祉と教育に重点をおき、多面的に取り上げることによって、我々が置かれている現代という時代認識と問題意識の提起を目指す」で行われたこの講座は、医療人育成センター、本学学生をはじめ参加いただいた多くの人々に対して、啓発の機会となり、いろいろな教育効果をもたらしたと考えております。道民の一般参加の募集もいたしましたが、受講の募集を開始してすぐに200名に迫る申込みをいただき、その関心の高さを知りました。更に、講演後、アンケート用紙に書き込まれた感想からも大きな手ごたえを感じました。

我々が所属する医療系の大学にありましては、専門教育と比較しますと、とかく一般教育や教養教育が軽視されがちなところがあるように感じています。それは学生による授業評価結果からも感じていることです。しかし、人間性豊かな医療従事者育成のために、入学してすぐに始まる一般教育や教養教育において何をいかに効果的に実施するのか深く考えていかなければならないという意識を持っています。

本センターの役割として教養教育と専門教育(医学及び保健医療学)の有機的連携のもと、医療人を育成することがあります。特に、教養教育に貢献することへの期待は大きいといえます。医療系大学における教養教育のあり方は、常に世界的にも議論され、試行錯誤であり、これをやればよいと簡単に言えるものではありません。

そうした状況も踏まえ、本学今井浩三学長の発案と、寺島先生との個人的な信頼関係もあり本リレー講座の

開催を迎えることができました。

寺島事務所の方々には、事前の打合せを通して葛藤する我々のこころうちを組んでいただきました。寺島先生自らが2度講壇に立たれるとともに、他の日本を代表する知識人の方々に声をかけていただき、医療や福祉にかかわる講演も取り入れてくださいました。私達が教養教育を考えるための根本にかかわる内容が盛り込まれていたと感じています。

### リレー講座スケジュール

- 第1回 平成21年4月24日(金)、講師：寺島実郎先生((財)日本総合研究所会長・多摩大学学長・(株)三井物産戦略研究所会長)、テーマ：直面する危機の本質と世界の構造転換の意味
- 第2回 平成21年5月8日(金)、講師：中村桂子先生(JT生命誌研究館館長)、テーマ：生命を基本に現代文明を見直す
- 第3回 平成21年5月29日(金)、講師：明石康先生(特定非営利活動法人日本紛争予防センター会長・元国連事務次長)、テーマ：変動する世界と低迷する日本—脱却の道はあるのか—
- 第4回 平成21年6月8日(月)、講師：堀田力先生(さわやか福祉財団理事長・弁護士)、テーマ：地球規模で日本の少子高齢化を解析する
- 第5回 平成21年6月15日(月)、講師：尾木直樹先生(教育評論家、法政大学キャリアデザイン学部教授)、テーマ：いま『開国』の時、ニッポンの教育～競争から共生へ～
- 第6回 平成21年6月22日(月)講師：寺島実郎先生、テーマ：日本のあり方に関する考察—日本創生に向けて

本リレー講座は、グローバルな視点で多くのことを知るのみならず、考える機会をいただきました。一流の講師の方々から教育の方法についても学ばせていただく機会となりました。毎回、予定されていた90分の時間はあっという間であったと感じています。参加していただいた聴衆の皆様から、毎回アンケートをいただきましたが、高い評価を得ることができ、本リレー講座を主催した我々も手ごたえを感じております。

一昨年、医療人育成センターという新組織の発足と同時に、医療人育成センターに所属する教員は気持ちを新たに、本学の使命である「北海道における地域医療に貢献できる医療人を育成」することを目的として、高い医療倫理と教養を備えた人間性豊かな人材を育成することを、これまで以上に推進して行かなくてはならないと考えています。そのような中、今回のリレー講座は、私たち教員にとっても期待以上に大きな意味があったと感じています。

学生、教職員、道民の一般の皆様が一堂に会して本リレー講座は実施されました。一般の方々には、本学の教職員・学生の真摯な態度を感じていただく良い機会であったとも感じています。このリレー講座は、医学・医療に限定せず、私たちの直面する世界の問題について学生、教職員、道民の皆様がともに考え、なかなか得ることができない機会となったものと思っております。このリレー講座が大学教育再生のひとつのきっかけになることを願っています。

本リレー講座の運営にあたり、実行委員会を結成し6名の医療人育成センター教員が委員として加わりました。また、事務局学務課との役割分担の下、成功裏に終えることができたことを主催者として大変うれしく思います。各講演の内容は実行委員会の教員が分担し、レポートとしてその内容を冊子にいたしました。また、その中には参加の聴衆のアンケート結果も入れています。興味をお持ちの方には是非お目を通していただきたく思います。

最後に、日本を代表する識者の方々が、本学の学生、教職員、そして一般参加の人々に語りかけてくださるというまたとない機会のために諸準備を用意周到に進めてもらいました(株)GIN総合研究所・寺島実郎事務所の方々に感謝申し上げます。